

# 学生の支援に関する方針

## 順天堂大学

---

### <基本方針>

本学は、学是「仁」（人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」と理念「不断前進」（現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力し続ける姿勢）を基盤として教育を実践し、教員と学生間の距離が近いという伝統を背景に、学生一人ひとりが個性を発揮し、充実した学生生活が送れるように次のような支援方針を定めます。

- ・ 学生が主体的に学修に取組み、資質・能力を十分に伸ばさせるとともに、生涯にわたり学び続ける態度が身に付くように支援します。
- ・ 学生の心身の健康保持に留意し、生活上の問題に関する相談に応じるなど、学生が安心して学修に専念できるように支援します。
- ・ 学生が課外活動や正課外プログラムを通じて学生生活を豊かにし、学是「仁」の心を育むとともに人間的成長と自立を促すように支援します。
- ・ キャリア形成指導に注力し、学生一人ひとりの特性と希望に沿った適切な進路選択を支援します。

### <修学支援>

- ・ 学生が学修を円滑に進めていくことができ、安心して学生生活を送れるように、担任制やアドバイザー制を活用し、学生一人ひとりに相談・指導を行います。
- ・ オフィスアワー等の相談体制を充実し、日常的な学修相談に応じます。
- ・ 学生が自主的に学修を進めることができるように、情報通信技術も活用できる学術メディアセンター、ラーニングコモンズ、自習室等設備環境の充実を図ります。
- ・ 障がいをもつ学生を支援するために、施設・設備のバリアフリー化を進めるとともに、ノートテイクなど学生ボランティアグループの積極的な関わりを推進します。
- ・ 留年者及び休・退学者の状況把握と分析を行い、担任やアドバイザーが中心となり、関係各部署が連携して適切な対応を行います。
- ・ 本学独自の「佐藤・小川奨学基金」を財源とする「順天堂大学グローバル・リーダーシップ育成推進奨学金」に基づき、学術研究やスポーツの各分野において、国際的な活躍が期待でき、本学学生・教員等の模範となる優秀な人材を育成します。
- ・ 「順天堂大学外国人留学生奨学金給付規程」に基づき、他の学生の模範となる成績優秀な外国人留学生を育成します。
- ・ 「卓越した学生に対する学納金減免に関する規則」により、成績優秀者等の卓越した学生（学部学生・大学院生）を対象とし、学納金を減免し、教育研究の活性化を図ります。
- ・ 経済的理由から修学が著しく困難となった在學生・新入生（学部学生・大学院生）に対し、学納金の全額又は一部を減免し、学業の継続と進学のを支援します。

### <生活支援>

- ・ 学生部委員会が主体となり、学生生活実態調査（アンケート）を実施し、定期的に学生生活及び学修行動の実態把握を行い、学修・生活環境の改善に役立てます。
- ・ 各キャンパス安全衛生管理室に、医学部教員を校医として任命しているほか、学内外のカウンセラー等も配置し、学生の健康管理を行います。
- ・ ハラスメント防止に向けての啓発活動を継続的に推進するとともに学生相談室・ハラスメント相談窓口等も設置して快適で安全な学生生活を送ることができるよう支援します。
- ・ 保護者との連携を図るため、各地で保護者懇談会等を開催して情報交換に努め、大学と家庭とが協力して学生が充実した学生生活を送れるように支援します。
- ・ サークル活動やボランティア活動等を積極的に支援し、こうした活動を通して人間性・社会性・協調性を培います。
- ・ 医学部及びスポーツ健康科学部は、1年生全員が1年間さくらキャンパスの学寮に入寮し、学部を越えて寝食を共にし、団体生活における「他を思いやる心の涵養」と「団体の中における個の確立」を目指します。
- ・ 留学生については、国際交流センターが生活面の相談に応じ、学修に専念できるように支援します。

### <進路支援>

- ・ 入学後の早い段階から将来のキャリアを見据えた教育・指導を実践します。各種実習やインターンシップ等、体験型教育の充実を図ります。
- ・ 国家試験対策として、各種委員会・ワーキンググループにより組織的に支援します。
- ・ 教職課程センターを設置し、資質・能力の高い教員養成の強化充実を図ります。
- ・ さくらキャンパス就職課、スポーツ健康科学部就職支援室及び国際教養学部就職支援室に職員及びキャリアカウンセラーを配置し、それぞれの学生に適した指導、助言を行うとともに資料室を設け、進路に係る様々な情報提供を行います。
- ・ 就職については、附属病院説明会、各種就職説明会、ガイダンス等を定期的で開催し、各種委員会・ワーキンググループ・事務部門が連携して組織的に情報提供・就職支援を行います。